

大和高田市新庁舎整備に向けた検討「新庁舎の導入機能」について				市民部会	資料 2
庁舎整備の基本方針	実現に向けた基本的機能	市民部会	施設環境部会	周辺施設部会	170626 第 2 回職員WG 部会 主な意見 170706 第 5 回庁内検討委員会 主な意見
1.市民を支える、安全安心な庁舎づくり	(1) 防災拠点としての機能 (2) 危機管理機能 (3) セキュリティ対策		○ ○ ○		
2.人にやさしく、便利で快適な庁舎づくり	(1) ユニバーサルデザイン (2) プライバシー配慮 (3) 市民利便機能 (1) 窓口・駐車場の利便性	○ ○ ○ ○			
3.機能的で使いやすく、経済的な庁舎づくり	(2) 執務空間などの機能性 (3) 柔軟性・経済性		○ ○		
4.まちづくりに貢献する、環境配慮の庁舎づくり	(1) 開かれた庁舎 (2) 省エネルギー・省資源 (3) 周辺環境・景観配慮	(○)	○ ○ ○		

(全体) 各機能はどれも望ましく有効であると考えられるが、全部対応した場合に基本構想で示している1万㎡前後に納まるかどうかの確認も必要

2.人にやさしく、便利で快適な庁舎づくり

庁舎整備の基本方針	実現に向けた基本的機能	具体的な機能・方策
2.人にやさしく、便利で快適な庁舎づくり	(1) ユニバーサルデザイン	移動空間における配慮 行為空間における配慮 快適な環境づくり
	(2) プライバシー配慮	相談室の設置 カウンターの仕切り・ブースの設置 執務空間における配慮
	(3) 市民利便機能	市民活動室の設置 市民の憩いの場の提供 市民利便機能の設置

(1) ユニバーサルデザイン

①移動空間における配慮
【通路・階段・エレベーターなど】

- 敷地内や建物内は床の段差をなくし、見通しがよく、できるだけ死角のない通路となるようバリアフリーの計画とします。また、廊下は車椅子ですれ違うことのできる幅を確保し、適切な場所に身障者対応のエレベーターを設置します。
- 主要な階段は緩い勾配とし、2 段手すりを設けるなどお年寄りから子供まで、誰もが上り下りしやすい計画とします。
- 窓口部門の低層階への配置・階層構成に応じて、上下階の移動のしやすさに配慮した動線を確保します。

【サイン計画】

- 各種サインは、設置する場所に応じた表示位置や言語、文字サイズ等を検討し、トイレ等にピクトグラムを用いるなどの工夫を行います。また、色使いもシンプルなものとし、分かりやすさに配慮した計画とします。

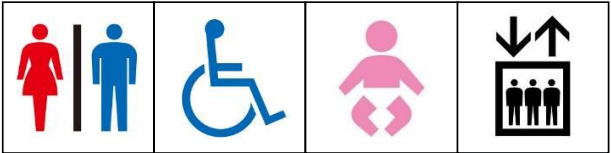
【案内誘導機能】

- 触知案内機能や音声案内など、障害がある方を含めた多様な案内・誘導対応を図ります。視覚障害者のための点字誘導ブロックも、分かりやすさや歩きやすさに配慮するなど、ユニバーサルデザインに配慮した計画とします。

各部の床材について滑りにくさ、歩きやすさ、維持管理面も含めて材料選定時に配慮が必要

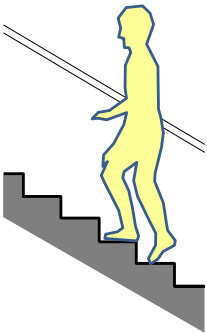


【全体案内サインイメージ】

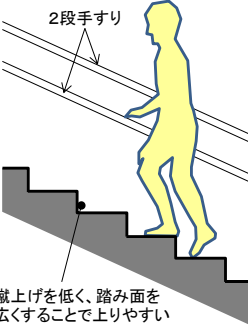


【ピクトサイン例】

一般的な階段



勾配の緩い階段



蹴上げを低く、踏み面を広くすることで上りやすい

勾配の緩い階段は上りやすいが、相応のスペースも必要となるので、全体面積への影響も含めて検証が必要



【緩やかな階段の設置例】

1

②行為空間における配慮

【誰もが使いやすいトイレ】

- ・ オストメイト対応の多目的トイレを主要な箇所に設置します。
- ・ 一般用のトイレ内（男性用含む）にも乳幼児連れで使えるブースを設置します。また、女性用トイレに男児用の小便器を設けて、子供連れの母親の方が利用しやすい工夫を行うなど、誰もが安心して利用できるトイレとします。

【授乳室】

- ・ 乳幼児用連れの来庁者のために授乳室を設置します。授乳室には、ベッドや椅子、テーブル、洗面台を設けるなど、使いやすい配慮を行います。

【利用しやすいカウンター】

- ・ 窓口部門をはじめ、各フロアの執務スペースに面した来客用カウンターは椅子式とし、来庁者が座って手続き等を行えるよう配慮します。なお、手続き内容や利用者に応じて、ハイカウンターも適宜設けます。



【オストメイト対応多目的トイレ】



【授乳室の設置例】

③快適な環境づくり

【シックハウス対策】

- ・ 衛生的な執務環境・利用空間を目指す計画とし、シックハウス対策として内装仕上げ・家具等に健康に配慮した材料を使用するとともに、室内の換気を適切に行える施設とします。

【受動喫煙対策】

- ・ 来庁者等の喫煙者対応として、健康増進法に基づく適切な受動喫煙防止対策を講じたうえで、喫煙スペースの設置について検討します。



【敷地内の喫煙場所設置例】

騒ごうとする来庁者を連れて入れる小さな小部屋が窓口以外のフロアにもあった方が望ましい。（周辺施設部会）

（２）プライバシー配慮

①相談室の設置

- ・ 窓口部門の執務スペースに隣接して、個室の相談室やブースを設置し、来庁者のプライバシーに配慮した計画とします。

②カウンター仕切りの設置

- ・ 窓口カウンターにおいても、各種の相談が行われることから、戸籍や福祉等の関連窓口のカウンターに仕切りパネルを設置し、相談者のプライバシーに配慮します。



【相談ブース設置事例】

③執務空間における配慮

- ・ 執務ゾーンと来客ゾーンの間のローキャビネットの設置など、カウンターからデスクが見えない工夫を行い、情報漏えいの防止に配慮したレイアウトとします。

相談室は各課が使えるよう集約配置。（6～7人使うこともある）

職員が身を守るために、逃げ道（相談室ならば複数の出入口）が必要。

（３）市民利便機能

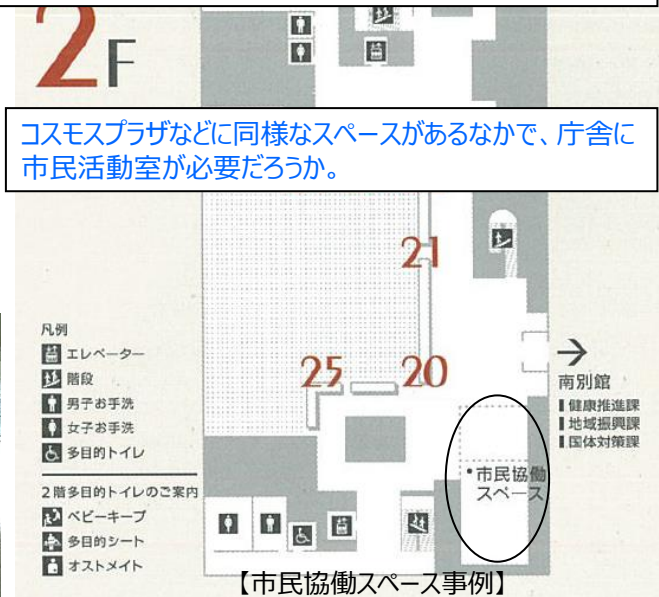
市の中心拠点として一定のスペースがあってもよいのでは（公民館にもあるが需要が高い）。

①市民活動室の設置

- ・ 市民の市政参画や、市民協働による地域活動など、各種会議や集まりに利用できる市民活動室を、利用しやすい場所に計画します。市民活動室は、複数の室で多様な広さを設け、一体的に使える工夫などにより、利便性を向上させます。
- ・ 市民活動室は、夜間や休日利用も可能な運用計画とします。



他の新しい庁舎では休日にも使える市民利用スペースがあり、市民の居場所となっている事例が多いのも事実。



コスモスプラザなどに同様なスペースがあるなかで、庁舎に市民活動室が必要だろうか。

【市民協働スペース事例】

基本理念「人と地域の輪を育む」にも沿った一定のスペースは必要なのではないか。
食堂があればよいが、運営を考えると難しいのでは。
飲食できるスペースがあることで対応可能では。

②市民の憩いの場の提供

【市民サロン】

- ・ 用事がなくても市民がふらっと立ち寄り、くつろぎ、談話できるスペースを各所に設置します。市民活動室付近に椅子やテーブルを配置した市民サロンやロビーの一角、屋外テラスなどに同様の休憩スペースを設けます。

【飲食スペース】

- ・ 市民サロンなどのスペースに、簡易なカフェテリアコーナーや飲食できる場所も設けるなど、市民の居場所づくりを推進します。

【売店スペース】

- ・ 市民の来庁時の利便性や職員利用も踏まえた売店スペースの設置を検討します。時間外や休日の利用も考慮した配置計画等の工夫を行います。



売店＝コンビニであれば、外にも向いて営業ができるようなイメージ。



【庁舎へのコンビニ・カフェ喫茶コーナー設置事例】



コンビニを外向けに営業する場合、駐車場区画をどうするか、また休日夜間の庁舎ゾーンとのセキュリティ区画も必要。

③市民利便機能の設置

【ATMコーナー】

- ・ 1階の待合スペース近くに、時間外利用の対応を含めたATMコーナーを設置し、市民の利便性向上を図ります。また、指定金融機関の窓口設置にも対応した計画とします。

【自動販売機コーナー】

- ・ 来庁者や職員も利用できる自動販売機コーナーを適切な場所に設置します。

ATMがあるだけで庁舎に来られる市民もいる。市民サロンなどお年寄りが用事が無くても居場所として利用されるのはよいと思う。



【ATMコーナー設置事例】

3.機能的で使いやすく、経済的な庁舎づくり

別の市庁舎では、1階に市民窓口が集約されており、待合ロビーを挟んで対面に税の窓口があるなど、とても利用しやすい配置となっている。

3.機能的で使いやすく、
経済的な庁舎づくり

(1) 窓口・駐車場の利便性

総合案内の設置
窓口部門の集約配置
窓口案内サインの工夫
待合スペースの充実化
キッズスペースの設置
使いやすい駐車場・駐輪場

(2) 執務空間などの機能性

機能的・効率的な部門配置
オープンフロアの執務空間
会議スペースの充実化
書庫・倉庫等の充実化
福利厚生機能の充実化

(3) 柔軟性・経済性

高いフレキシビリティの確保
維持管理・更新のしやすさ
ライフサイクルコストへの配慮

(1) 窓口・駐車場の利便性

①総合案内の設置

- ・ エントランスホール付近の分かりやすい場所に、来庁者の用件に応じて窓口等の案内を行うコンシェルジュを配置する総合案内を設けます。
- ・ 記帳台付近で、手続き内容に応じた書類の書き方などを案内するフロアマネージャーを配置できる窓口環境とします。

ハード面の導入機能・スペースを記載しているが、これを運用していくソフト面（組織対応）もイメージしながらの検討が必要。



【総合案内・コンシェルジュ例】



【窓口のフロアマネージャー事例】

②窓口部門の集約配置

【窓口の集約配置による利便性向上】

- ・ 市民のライフイベントに関する手続きや福祉、税務関連の窓口を低層階に集約し効率的な配置とすることで、来庁者の移動負担を軽減し、利便性を高めます。

【窓口カウンターの工夫】

- ・ 窓口において、関連する部門の職員がスムーズに来庁者対応できるよう、カウンタースペースにゆとりを持たせる計画とします。また、手続きにおいて関連する部門を隣接させるなど、市民目線による組織構成や配置のあり方を検討します。



【窓口の1階集約配置例】 玄関

③窓口案内サインの工夫

【窓口案内サイン】

- ・ 手続きの場所を来庁者が分かりやすいよう、窓口名称を「税金のこと」や「国民健康保険のこと」のように表示する工夫や、配置ごとの番号表示を行うなど配慮を行います。
- ・ 案内サイン全体について、手続きの場所にスムーズに誘導できるよう、デザインにも統一感を持たせた計画とします。

【窓口サインの事例】



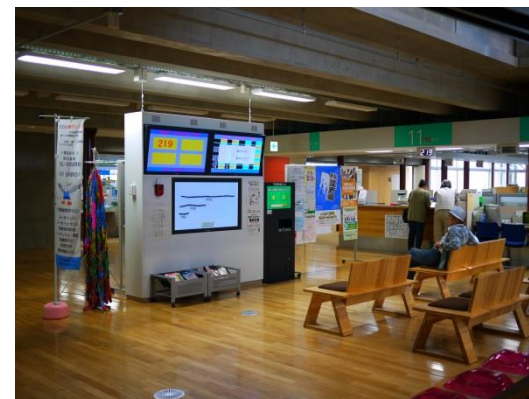
④待合スペースの充実化

【快適な待合スペース】

- ・ 窓口に面して、ゆとりのある待合スペースを確保します。待合スペースには、肘付きタイプの椅子など、お年寄りの方が座りやすい家具も設置します。

【情報提供機能の充実化】

- ・ テレビ画面等による情報提供ツールや、順番待ちの番号表示モニター、音声案内など、情報提供機能の充実化を図ります。



【情報画面のある待合スペース】

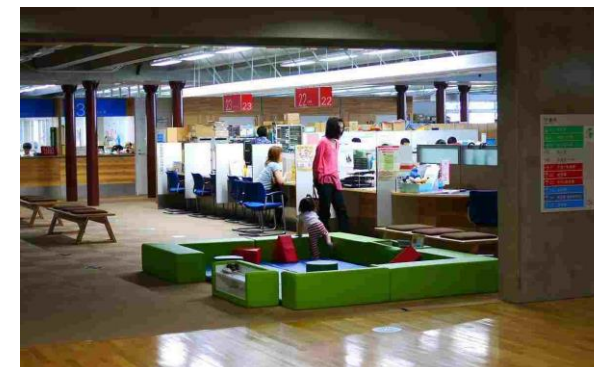


【ゆとりのある待合ロビー】

⑤キッズスペースの設置

- ・ 待合スペース付近の目の届きやすい場所にキッズスペースを設けて、乳幼児連れの来庁者の利便性に配慮した計画とします。

窓口カウンターのすぐ横に、用紙記入時に乳幼児をちょっと落ち着かせられるスペースがあれば便利。



【子育て窓口付近のキッズスペース例】

⑥使いやすい駐車場・駐輪場

- ・ 来庁者の主要な交通手段となる車利用に配慮し、十分な台数確保の上、機能的な駐車場配置計画とします。
- ・ 敷地の出入口を複数確保し、駐車スペースへの通路動線や駐車マスの大きさなど、利便性に配慮した計画とし、車椅子利用者用を含むおもしろい駐車を、エントランス付近に設置します。また、エントランスに面して乗降者用の車寄せを設置し、タクシー利用にも配慮した計画とします。
- ・ 十分な台数の駐輪場を設置し、エントランス付近などに配置計画に応じて分散配置します。

迷惑駐車対策として、料金ゲート（庁舎利用者の一定時間内は無料前提）を設置する方向。



【車が寄り付ける乗降スペース】



【玄関横の屋根付き駐輪場】



【緑化された駐車場・屋根付き駐輪場】

敷地の余裕度にもよるが、一角にポケットパーク・花壇のようなスペースがあれば望ましい。